ねがたびと

題字：降矢玄龍先生

第５４号
発行日　令和６年９月６日
発行者　根形交流センター
（根形公民館）
袖ケ浦市下新田 1277
TEL 0438-62-6161

“ねこまろ” 11年目を迎えました！

根形の夏休みといえば『ねこまろ』です。今年で１１年目を迎えました。
『ねこまろ』とは、根形小学校の子供たちが夏休みに根形公民館を開かれた「キャンパス」に見立てて、勉強や様々な体験を根形地区の若者や大人達と共に行う活動です。今から１１年前の新成人が「根形地域のために役に立ちたい」という思いをきっかけに、スタートした事業です。今では、根形公民館の看板事業であり、新聞にも何度か取り上げられ、多くの方に知られるようになりました。

今年の『ねこまろ』は、通常版を８月１・２日、特別版を８月３・１７日に実施しました。通常版１日目には、小学校１年生から６年生までの２８名、２日目には２７名が参加しました。午前中は、夏休み中の宿題（漢字や計算ドリル、絵日記、工作など）を行い、午後は卓球やラダーゲッター、インドア・ローンボウルズ、ボッチャの体験を行いました。参加した子どもたちからは「ボッチャ、卓球がとても楽しかった。」、「ねこまろに来ているお姉さん、お兄さんが優しかった。」などの感想が寄せられました。

今回も、大学生を中心とした若者のグループ（Ｎ．Ｏ．Ｃ【ねがた．オープン．キャンパスの略】）が、当日の運営、片付けまでを行い、高校生ボランティアや袖ケ浦市レクリエーション協会、社会教育推進員、根形公民館の絵画サークルの皆さんの協力を得ながら、通常版を成功させました。ボランティアからは「小学生の頃に参加したことがあり、ボランティアとして貢献したいと考え、参加しました。」などの声が聞かれました。

午前は静かに勉強

インドア・ローンボウルズに挑戦

ラダーゲッターに挑戦

卓球に挑戦

ボッチャに挑戦

ねこまろ　続きだよ！「特別版　」

『ねこまろ』の特別版は、１日目（８月３日）には小学校１年生から６年生までの２９名が、そして２日目（８月１７日）には３１名が参加しました。今年の特別版では、根形公民館で活動している陶芸サークルの協力を得て、１日目に粘土で皿や小物などを成形し、２日目に釉薬をつけて色付けを行いました。また、２日目には青少年相談員と根形小ＰＴＡが作った焼きそばやかき氷を振る舞いました。参加した子供たちは「粘土でお皿を作るのが楽しかった」といった感想を寄せています。

なお、この『ねこまろ』特別版は、根っ子の会（根形地区住民会議）との共催事業（根形わくドキ体験）として実施され、Ｎ.Ｏ.Ｃやボランティア、青少年相談員、根形小ＰＴＡ、根っ子の会役員などの３５名が参加・協力しました。地域の若者や子どもたち、そして大人たちが関わる、まさに多世代交流の場となっています。

粘土でお皿や小物を作りました

N.O.C、ボランティアと一緒に

釉薬(色)つけに挑戦

第12回 ねがたファミリーコンサート

７月２７日（土）、袖ケ浦市出身のヴァイオリニスト小泉百合香さんとピアニスト鈴木奈津子さん、チェロリスト白神あき絵さんの３名によるアンサンブルコンサートを開催しました。このコンサートも回を重ねること１２回となりました。小泉さんは、（公財）千葉交響楽団の団員として、鈴木さんと白神さんはフリーのプロの演奏家として、幅広く活躍されています。

「ニコニコ教室（高齢者教室）」の講座生の他、地域住民など計１２４名の参観者がプロの泊力ある演奏に聴き入っていました。

『ナヴァロ（サラサーテ）』に始まり、『小さな世界（シャーマン）』、『日本の夏メドレー（夏は来ぬ、七夕さま、我は海の子）』、『トルコ行進曲“ジャズ”（モーツァルト＝ファジル・サイ）』、『輝く未来（メンケン）』、『親愛なる言葉（カサド）』、『ピアノ三重奏曲第１番第１楽章（ベートーヴェン）』など、ディズニーソングからクラッシックまで全１０曲を演奏。子どもから大人まで楽しめる夢のようなひと時を過ごせました。「音がすごくきれいで感動しました。クラシックなどいろいろあって楽しかったです。」など、参観者から大満足の声が届きました。

二十歳を祝う会

祝

令和7年1月12日(日)開催します

「生まれ育った郷土に感謝し、社会の一員として力強く生きる気持ちを持つ」という目標を掲げ、袖ケ浦市二十歳を祝う会を開催します。現在、二十歳を迎える若者を含めた実行委員で、式典に向け準備を進めています。

予告！

11／2（土）
11／3（日）

根形公民館まつりを開催します！

根形公民館で日頃活動しているサークルや地域の団体、根形保育所、根形小・中学校の作品展示や発表、即売会などを行います。また、親子陶芸・工作・油絵・料理・テニスの体験教室などの講習会もあります。詳しくは、市ホームページやチラシ等でご案内します。ぜひ、お出かけの予定に入れてください。

模擬店も出店するよ！

いつかまたくる
災害に備えよう！

先日発生した台風１０号は日本列島を横断し、土砂崩れや河川の氾濫など各地に大きな被害をもたらしました。６年前の令和元年に発生した台風１５号では、根形地区は１０日間にわたって停電となり、水道やトイレも使用できない状態となりました。この経験から再度、自然災害の恐ろしさを実感しました。

根形公民館では、「防災」をテーマに「地域人材育成講座」を開講しています。根形小・中学校の子供たちには、地域の一員として防災意識と知識を高め、自分たちにできる行動を学ぶことを目標に、学習を深めています。また、「根形地区地域防災訓練」を開催し、避難訓練、避難所設営、非常食の作り方などを行ってきました。

令和６年度の訓練は、令和７年２月２日（日）の午前中に実施する予定で、現在その準備を進めています。訓練に関して何か提案などがありましたら、遠慮なく公民館までご相談ください。

◊◊ 根形公民館 主催講座 紹介 ◊◊

『幼児家庭教育学級』リニューアルしました？

根形公民館では「幼児家庭教育学級」を開設しています。この学級では、「２歳から就学前の子供を持つ保護者が心身ともに健康を保つため、親子の触れ合いを通じて子育ての悩みなどを共有・相談できる場」を提供することを目的としています。本年度は、９月８日（日）と９月２８日（土）の２回、午前１０時から根形交流センターの視聴覚室で行います。

９月８日は『積み木ショーとおもちゃの選び方』。積み木を使って行うパフォーマンスショーのほか、子供たちはボードゲームの体験を、保護者はおもちゃの選び方の指導を受けます。９月２８日は『切り絵でハロウィンボックスを作ろう』。折り紙や切り絵を使って親子でライトボックスを作ります。

親子で一緒に楽しめ、お子さんの想像力を引き出し、ママやパパ同士子育ての悩みや情報交換をしてみませんか！

袖ケ浦生き物探訪　その②　信号機カラーのトンボ

郷土博物館　水流（つる）　拓馬

袖ケ浦ではたくさんの種類のトンボを見ることができます。一生涯を水辺で過ごすトンボの仲間にとって、ため池や用水路、川の支流など多様な水環境がある袖ケ浦は、とても住みやすい場所なのです。今回は、彼らトンボの色に注目してみたいと思います（モノクロ紙面なのにすみません）。

なかなか止まってくれないのでわかりにくいですが、実はトンボの仲間はとてもカラフルです。童謡でおなじみの赤とんぼ（アキアカネなどアカネ属のトンボ）や最近虫よけアイテムとして大活躍のオニヤンマなど、誰もが知っているような有名な種類にも、鮮やかな色合いのものが数多く存在しています。そんな彼らの中から、信号機になぞらえて「赤・青・黄色」のトンボについて、それぞれの色につき 1 種類ずつ紹介します。

【赤代表：ショウジョウトンボ】

「猩猩（しょうじょう）」とは中国の古事に登場する空想上の生き物で、染料に使われるほど真っ赤な血をしていたという伝説があります。この血のようなあざやかな赤を示す言葉として生まれたのが「猩猩緋（しょうじょうひ）」で、ショウジョウトンボのオスはこの名に恥じない全身燃えるような真っ赤な体色をしています。暑くなりはじめる頃に現れるので、夏の訪れを感じさせてくれるトンボでもあります。

【青代表：オオシオカラトンボ】

本種のオスは成虫になった後に色が変わり、成熟する（繁殖ができるようになる）と、黒と黄色のツートンカラーから全身青色へと大胆にイメチェンします。紫色がかかった深みある青と黒い目とのコントラストが、水辺の緑によく映えるトンボです。草が多く近くに森があるような湿地を好み、明るいところを好むショウジョウトンボと比べると、やや薄暗い場所で多く見られます。

【黄色代表：キイトトンボ】

黄色の腹部（しっぽのような部分）と黄緑色の体を持つ、他に似ている種がいないほど鮮やかな色合いのトンボです。単体で見ると目立ちますが、とても細く小さいので周囲の草に溶け込んでしまい、実は慣れないと探すのが大変だったりします。また、本種は水生植物が多く、自然度の高い浅い湿地を好むため、開発の進んだ場所では見ることができません。

これ意外にもきれいなトンボはたくさんいます。図鑑片手にぜひ探してみてください。